

PRESS RELEASE

2013年9月9日
株式会社三菱総合研究所

2013年4-6月期2次QE後「内外景気見通し」改定値

株式会社三菱総合研究所(代表取締役社長 大森京太 東京都千代田区永田町二丁目10番3号)は、内閣府より9月9日に発表された2013年4-6月期GDPの2次速報値(2次QE)を受け、8月13日当社発表の「2013・2014年度の内外景気見通し」におけるGDP予測値の改定を行った。

◆ 予測結果 - 実質GDP成長率は、13年度+2.7%、14年度+0.5%

実質GDP成長率は、13年度+2.7%、14年度+0.5%と予測する。前回見通し(1次QE後、8月13日)から変更なし。

2013年4-6月期GDPの2次QEは、1次QEから実質前期比+0.6%→+0.9%(同年率+2.6%→+3.8%)と大幅に上方修正された。2四半期連続で年率4%近くのプラス成長となったほか、6四半期ぶりに設備投資がプラスの伸びとなるなど、日本経済の回復を裏付ける結果となった。

先行きを展望すると、①輸出の緩やかな持ち直し、②更新需要等による設備投資増、③消費の堅調、④補正予算の執行を背景に、日本経済は回復を続けると予想する。とくに13年度後半は、消費税増税前の駆け込み需要も予想される。14年度は、前半に駆け込み需要の反動減を見込むが、各種税制措置もあり調整局面は短期で終了するとみられ、年度後半には再び回復軌道に戻ると予想する。

図表 日本経済見通し総括表

		今回見通し			前回(1次QE後、8/13)	
		2012年度 実績	2013年度 予測	2014年度 予測	2013年度 予測	2014年度 予測
(単位:前年度比)						
実質GDP	実質国内総生産(実質GDP)	1.2%	2.7%	0.5%	2.7%	0.5%
	民間最終消費支出	1.6%	2.4%	▲0.4%	2.4%	▲0.4%
	民間住宅投資	5.3%	7.5%	▲3.0%	7.5%	▲3.0%
	民間設備投資	▲1.4%	1.8%	3.3%	1.3%	3.8%
	民間在庫品増加(寄与度)	▲0.1%	▲0.1%	▲0.2%	▲0.1%	▲0.2%
	政府最終消費支出	2.1%	1.7%	1.4%	1.8%	1.4%
	公的固定資本形成	15.0%	8.4%	▲2.9%	8.4%	▲2.9%
	財貨・サービス純輸出	***	***	***	***	***
	財貨・サービス輸出	▲1.2%	5.1%	5.3%	5.1%	5.3%
財貨・サービス輸入	3.8%	3.7%	3.0%	3.7%	3.0%	
寄与度	内需寄与度	1.9%	2.4%	0.1%	2.4%	0.1%
	民間寄与度	0.9%	1.7%	▲0.0%	1.7%	▲0.0%
	公需寄与度	1.0%	0.7%	0.1%	0.7%	0.1%
	外需寄与度	▲0.8%	0.3%	0.4%	0.3%	0.4%
名目国内総生産(名目GDP)		0.3%	2.3%	1.9%	2.3%	1.9%
GDPデフレーター		▲0.9%	▲0.3%	1.4%	▲0.3%	1.4%

注:本予測では、14年4月の消費税率引き上げ(5→8%)を前提としている。
資料:実績は内閣府。予測は三菱総合研究所。

◀本件に関するお問合せ先▶

株式会社 三菱総合研究所 〒100-8141 東京都千代田区永田町二丁目10番3号
政策・経済研究センター 武田洋子 森重彰浩 石橋和樹 電話:03-6705-6087 FAX:03-5157-2161 E-mail:ytakeda@mri.co.jp
広報・IR部 笠田 電話:03-6705-6000 FAX:03-5157-2169 E-mail:media@mri.co.jp
尚、本資料は、内閣府記者クラブに配布致します。